

3月7日（金）1，2年生が参加する強歩大会を開催しました。本大会は42回目を数える伝統行事のひとつで、生徒たちの心身の鍛錬や協調性、自主性、社会性を養いながら、諫早東高校周辺の地域環境への理解を深めるために行われています。

スポーツなどで行われる個人種目の「競歩」とは異なり、3～5名のチームで5か所のチェックポイントを通過し、制限時間である4時間半以内にチームメイトと一緒にゴールまで歩くことになります。学校をスタート、ゴール地点とし、愛野～千々石～森山地区を結んだ、全長18.5kmのコースを歩きます。

開会式では、生徒会長の豊村峻也君（2年3組）からの励ましの言葉を、生徒は不安とワクワクの2つの感情が入り混じった様子で聞いていました。

天候に恵まれきれいな青空の中、9時15分に1年1組がスタートし、その後3分おきに1年2組、2年1組、2年2組、2年3組の順で出発しました。晴れていたものの、出発時はまだ気温が低く寒さを訴える生徒が多数いましたが、1つ目のチェックポイントである愛野運動公園付近を歩くころには体も温まり、うっすら額に汗を流しながら歩いていました。



スタートから8キロほど進むと千々石の海岸線に入ります。快晴ということもあり、きれいな景色を見て、一瞬ではありますが生徒たちも疲れを忘れていたようでした。スタートから10キロあたりまで来ると先頭グループと最後尾グループの差が1時間ほど開いていました。中には普段長い距離を歩いたりすることがなく、疲労がたまって座り込んでしまう生徒も数名出ていました。しかし、チームメイトが励ましたり、歩くスピードを合わせたり、お互いを理解しながら「共助」の精神で少しずつゴールへ進んでいました。そのおかげで、無事にすべてのチームが制限時間の4時間半以内にゴールすることができました。



閉会式では、班ごとのタイムを競う「班対抗の部」と各クラスの班の平均タイムを競う「クラス対抗の部」の表彰を行いました。かなり疲労が溜まっていたようで、代表者としてステージに登壇する際に筋肉痛でふらつく生徒も数名見られました。表彰式では受賞チームに対して大きな拍手が送られました。

帰りのSHRでは、PTAの方が用意してくださったお菓子「あげまきもなか」を達成感あふれる表情を浮かべながらおいしくいただきました。当日の交通指導や見守りなどご協力いただいた保護者の皆様、誠にありがとうございました。

## 【番外編】

今大会の開閉会式の司会進行を担当した体育委員長の杉山広汰郎君（2年2組）と、体育副委員長の小川将斗君（2年3組）は、役目を終えてすごくほっとした様子でした。

「緊張してところどころ噛んでしまいました・・・。」

「もっと良い司会ができたかもしれない・・・。」

という思いを話してくれました。しかし、大勢の人の前で話したり指示したりすることはなかなか経験できません。是非今後も委員長としてこのような仕事をたくさん経験し、将来活躍できるよう頑張ってもらいたいと思います。

## 【成績】

### ○クラス対抗（全5クラス）

総合優勝 2年1組 記録：3時間26分46秒（1位からの差）

準優勝 2年2組 記録：3時間27分15秒（+30秒）

3位 2年3組 記録：3時間37分15秒（+10分29秒）

### ○班対抗（全19班）

優勝 2年1組 2班 記録：2時間53分30秒（1位からの差）

準優勝 1年1組 4班 記録：3時間03分10秒（+9分40秒）

3位 2年3組 3班 記録：3時間09分00秒（+15分30秒）

4位 1年2組 4班 記録：3時間11分55秒（+18分25秒）

5位 2年2組 1班 記録：3時間23分45秒（+30分15秒）